

祝小学校だより 第6号 (地域版)



協心

令和4年10月24日(月)

文責 校長 土屋弘明

88人全員がヒーローになった運動会!!

ヒーローになる時、それは今!!

台風のため、二日間延期となってしまいましたが、9月25日(日)

運動会日和の好天に恵まれ、秋季大運動会が無事に開催されました。学校で最大の行事である運動会の成功に向けて、全校一丸となって取り組みました。特にリーダーである6年生の活躍、頑張りには本当に素晴らしいものがありました。下級生もそんな6年生の姿に引っ張られ、全校児童が全力・本気で頑張る姿が随所に見られました。低・中・高学年それぞれの踊りでは、どの子も手足を思い切り伸ばし、大地を踏みしめ、体全体を使って、のびのびと演技していました。リレーや競争種目では、最後まであきらめずに一生懸命競技し、どのレースも接戦となり、白熱しました。保護者、家族の皆様には、子供たちへの多くの拍手・応援、片付けへのご協力をありがとうございました。運動会を通してまた一回りたくましく成長した子供たち。学校は、運動会を境に後半戦に突入します。

優勝めざして 燃えあがれ! 今、ヒーローになるとき!

堂々の校旗入場



流れるようなバトンパス



堂々と自信にあふれた祝小ソーラン



どの色も一生懸命、全力・本気で戦いました



勝っても負けてもみんながヒーロー!!

150年の歴史と伝統～創立記念日～



10月8日(土)は、祝小学校の創立記念日でした。明治6年、下岩崎村蓮華寺の堂宇を借用し、下岩崎学校と称し開校してから、今年で150年となります。その後、大正11年10月8日に当時の皇太子が祝村を訪れたことを記念して、この日を学校創立記念日にしたということです。前日の7日に全校集会を開き、150回目の創立記念日を全校児童で祝いました。

「祝」の名前の由来や、いつも歌っている校歌が実は1番と4番で、その間に2番と3番があることを話し、児童会執行部の祝小クイズと6年生作成の150年年表で盛り上がった後、全校で校歌を歌いました。祝小の校歌は、東山梨地区では1番早く制定され、県内でも3番目位という伝統のある校歌です。来年は150周年となり、10月1日(土)のぶどう祭りの日には、「150周年実行委員会」主催のプレ企画も行われ、卒業生の作曲家松本さんの歌とお話の後、校庭から鳥居焼きと花火を鑑賞しました。



釈迦堂遺跡博物館ってスゴイ!!

10月13日(木)、6年生が前回の出前講座に続き、今度は釈迦堂遺跡博物館に出かけて、実際に見学してきました。学芸員の一瀬さんから釈迦堂遺跡は、博物館周辺だけでなく、釈迦堂パーキングエリアの上下線一帯の場所を発掘したと聞き、まずその広さに驚かされました。館内の展示では、土偶や土器の実物を見ながら、わかりやすく説明をしていただきました。特に今回は、年代による土偶や土器の変遷について、その時代の流行や縄文の人々の想いが形に表れていて、現代の私たちと変わらないという興味深い話もありました。最後には特別なご配慮で、普段は見ることのできないバックヤード(収蔵庫)を案内してもらいました。まだ公開前の重要文化財級の出土品や発掘調査の記録資料など貴重な「お宝」を間近に見ることができ、とても有意義な見学となりました。あらためて日本有数の縄文遺跡のお膝元に祝小があることを再確認しました。

縄文時代がとても身近になった気がするよ



芸術鑑賞教室 ～雨ふり小僧～

10月4日(火)、「勝沼・大和地区芸術鑑賞教室」が勝沼体育館で行われました。新型コロナ感染症拡大防止のために2年続けて中止となり、3年ぶりの開催と言うこともあって、児童はとても楽しみにしていて、会場まで元気に歩いて行きました。今回の演目は、劇団民話芸術座の「雨ふり小僧」という民話劇でした。

ユーモアを織り交ぜながら、友情や人を信じることの大切さを教えてくれたプロの劇団員の熱のこもった演技に、子供たちも最後まで真剣な眼差しで見入っていました。

雨ふり小僧はずっと信じて待っていたんだね

